

平成30年4月20日

長門市議会議長 武田 新二 様

長門市議会議員 大草 博輝 

## 政務活動費収支報告について

長門市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条第1項の規定により、下記のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 記

## 平成29年度政務活動費収支報告書

1. 収入 政務活動費 82,500 円

(平成29年5月分～平成30年3月分)

## 2. 支出

科目	金額(円)	主たる支出の内訳
調査研究費	0	
研修費	15,000	研修会受講代(議員が知っておくべき財政の話) 15,000円
広報費	77,241	でいすかす第12号印刷代 77,241円
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
合計	92,241	

(注)領収書等の証拠書類の写しを裏面に添付する

3. 残額 0 円





☆一般質問「仙崎地区交流拠点施設の運営は」  
全国には 1,117 か所の道の駅があり、その内、  
山口県には 23 か所の道の駅があります。

センザキッチンは、ながと物産合同会社が指定  
管理者となり「食べる」「遊ぶ」「つなぐ」ことを  
生かした魅力ある施設として 10 月にオープンし  
ます。バーベキュー施設やレストラン、パン屋、カ  
フェ、おもちゃ美術館、また市内の観光・交流拠点  
として観光地を結び、長門市全域の活性化を図  
ります。

### 『差別化を図る』

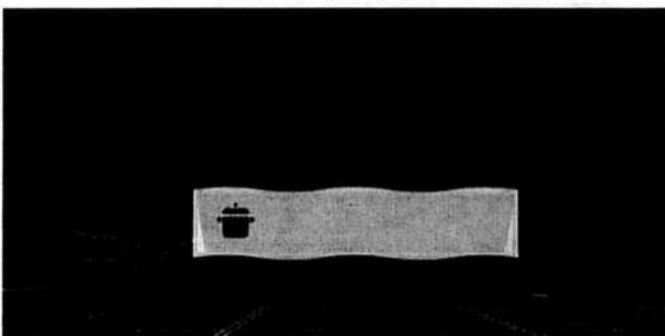
国土交通省では、道の駅を経済の好循環とな  
る成長戦略のツールと位置づけ「全国モデル道  
の駅」6 駅を選定しています。

岩手県遠野市「遠野風の丘」栃木県茂木町「も  
てぎ」群馬県川場村「川場田園プラザ」千葉県南  
房総市「とみうら」山口県萩市「萩シーマート」愛  
媛県内子町「内子フレッシュパークからり」は、防  
災拠点、6 次産業化、農業×観光、観光資源をパ  
ッケージ、地元業者との魚の加工品の開発、農業  
者が中心となった商品開発などです。

さてセンザキッチンの弱点は何か。それは国道  
191 から離れていることです。市長は、山陰道路  
三隅～長門間に仙崎インターチェンジを配置し、  
道の駅・センザキッチンにつなげる構想を示して  
います。

計画では、センザキッチンに 42 万人の集客を  
想定していますが、集客には何が必要なのか、魅  
力的な要素をまだまだ取り込むべきです。

〈センザキッチン〉



### 『道の駅・もう一つの顔』

昨年9月、俵山中学校での「NEON creative  
daycamp」は、県内・県外よりクリエイターによるシ  
ョップの開催。また今年 3 月、ルネッササルクスマ  
つり「Art Market Renaissance」.7月、開催予定の「3  
60でマーケット」など各イベントには3000～50  
00人が訪れています。このようにフリーマーケット  
やアート集団による取り組みは、誰にもチャンス  
があり、パフォーマンスを発揮できる道の駅とし  
て認知されるものと思います。

〈仙崎地区交流拠点施設〉



### 『駐車場の確保』

10月にプレオープンするセンザキッチンには、  
多くの人々が訪れます。

オープン時の駐車場の確保。また来年4月にグ  
ランドオープンするときの駐車場は、不測の事態  
も予想しなければなりません。

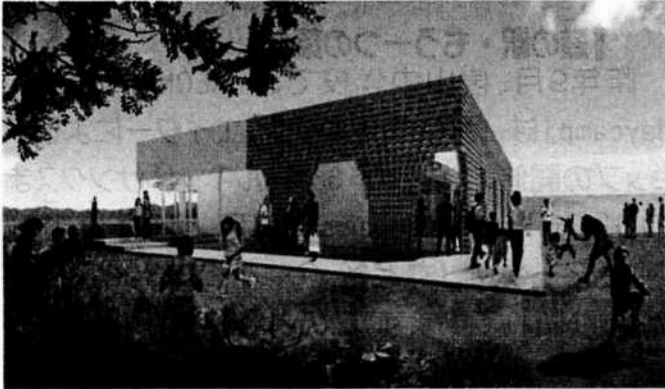
市は、仙崎地区交流拠点施設の駐車場に大型  
8台、小型150台、思いやり駐車場5台を整備しま  
す。またオープン当初は、この駐車場だけでなく  
不測の事態が予想されますので漁協を臨時駐車  
場にと考えます。またオープン時の土日には、大  
津緑洋高校水産キャンパスも臨時駐車場として  
利用させていただきたいと考えています。

# 「おもちゃ美術館」期待と不安 ～市の責任は～

大草ひろき

でいすかす  
DISCUSS×NAGATO  
長門市三隅下933-1  
TEL/FAX 43-0157  
okusa@mx35.tiki.ne.jp

☆「木育推進拠点施設の管理運営は」



市は、林業・木材産業を成長産業化し雇用を生み、担い手を育てる。また幅広い世代に山や木の大切さを実感するため、道の駅センザキッチン内に木育推進拠点施設(ながとおもちゃ美術館)を整備します。管理運営は、指定管理団体である「ながと物産合同会社」を通じて NPO 法人「人と木」が行います。

## 『運営計画の具体的内容』

計画は、NPO 法人「人と木」が主体となり、独立採算が可能となる年間入館者4万人(大人 700円、子ども 500円=計 2,320万円)、ショップ売り上げ年間730万円、その他収入合計3,160万円となっています。

入館料とショップの2つが収益の柱となっていますが、年間 4 万人の入館者、またショップの730万円(木の商品1個3,000~5,000円)の売り上げが何年も続くとは考えられません。

## 『美術館は収益施設?』

「環境を守る」「木の文化を伝えていく」「暮らしに木を取り入れていく」「経済を活性化させる」「子どもの心を豊かにする」「木育」の取り組みは、官民協同の場、新たな雇用の場、子育て支援の場と市は考えています。

しかし木育施設は、教育や子育て支援の施設であり、この施設が収益施設として成り立っていくことは難しいのではないのでしょうか。収益を求めるがために、「環境を守り、木の文化を伝えていく」ことや「子どもの心を豊かにする」子育て支援がおろそかになりはしないか心配です。

## 『NPO法人に任せる・経緯』

市は、NPO 法人「人と木」と東京おもちゃ美術館三者で「ウッドスタート宣言」を行い、市内で木育に取り組む唯一の団体であることから、昨年度、施設整備の計画段階から管理運営を引き受けていただくよう打診を続けています。そして現時点では引き受けていただくことで運営スタッフの確保・育成や経営計画の作成など管理運営体制の整備に取り組んでいます。

## 『NPOの独立採算は可能か』

平成30年度、おもちゃ美術館の収支予算案では、入館料、ショップの売り上げの他に収益事業はなく、3千万円の経営をするには覚悟と経営力が必要です。

市は、こうした経営計画の甘さを指摘しなければなりません。公共施設の管理運営は、「民間に任せられるものは民間に」との方針ですが、これでは“行政の丸投げ”ではないのでしょうか。経営に不案内な NPO 法人に任せることは無謀すぎます。

## 『市の役割・責任は』

市の役割は、NPO 法人「人と木」に経営上、不安なく活動していただき、美術館のスタッフやボランティアの方々を守り育てることです。

そして市の責任は、NPO 法人と連携しながら木育を進め、森林や木に対する意識や理解の醸成を図り、林業・木材産業を市内全域に広げることです。「ウッドスタート宣言」は、暮らしの中に木を取り入れ、木の持つ可能性を最大限引き出し、子育てに生かす取り組みを協力し合いながら進めていくことを約束したのではないのでしょうか。



領 収 証

大草博輝 様

29年7月7日

★

¥15,000

但「議員が知っておくべき財政の話 基礎編1」

7/7 10:00～ 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297





別記様式第1号

調 査 研 究  
研修・会議実施(参加)報告書  
要 請・陳 情

平成 30年 4月 10日

長門市議会議長 様

議員氏名 大草博輝



下記のとおり実施(参加)したので報告します。

調査、研修名 又は要請等名	予算、決算の質問のポイント
調査研修先 又は場所	地方議員研究会 リファレンス駅東ビル
日 時	平成29年 7月 7日(金)～平成29年 7月 7日(金)
目 的	予算、決算に関する全般的な研修
内 容	1. 議員が知っておくべき財政の話 財政の基本的な知識と用語の解説 歳入、歳出、科目別予算のあらまし 役所の予算編成から決算(当初予算、補正予算、決算) 事業の着眼点と事業の評価方法